



「呼吸リハビリテーション 地域連携の重要性」

NTT 東日本東北病院
内科部長 高 橋 識 至

慢性呼吸器疾患の疾患管理において、身体活動性の維持・向上が最も重要であることが明らかとなっております。そこで当院ではこのたび、できるだけ多くの呼吸器疾患患者さんの身体活動性や QOL が

向上できるように、呼吸リハビリテーションに注力した地域連携の会を立ち上げました。その第一回を、身体活動性の重要性に早くから着目されていた東北大学教授の黒澤一先生をお招きして 4 月 15 日に開催いたしました。慢性呼吸器疾患患者さんのリハビリテーションの継続には、スタッフの協力があるとさらに効果が期待できますので、本会には、医師のみならず、多くのスタッフにも参加していただきました。

当院からは呼吸療法認定士の三塚由佳看護師から「患者のモチベーションをあげる看護の介入」と題して、医療スタッフから患者さんへの愛のある声がけがなによりも重要であること、リハビリテーション科の藤原裕太理学療法士からは「当院呼吸リハビリテーション連携の現状と実際」と題して、当院リハビリ連携の実情と今後のあり方を発表いたしました。黒澤先生には「よりよい楽しい生活を送るために身体活動性の維持と向上」との題目で発表していただきました。本会の主旨は、一人でも多くの慢性呼吸器疾患患者さんが呼吸リハビリテーションの恩恵を受けられて、黒澤先生のご講演名のように、よりよい楽しい生活を送ることができるようにすることです。

COPD (慢性閉塞性肺疾患) をはじめとする慢性呼吸器疾患患者さんは地域に多く存在することが知られており、その長期管理は地域連携無くしてはなりません。私どもの医療チームが微力ではありますが、皆様方の地域医療のお役に立てればと思いますし、ご意見を伺いながら、これからよいものに発展できるきっかけとなればと思います。

病院理念

人権と生命の尊厳を守り、心のこもった温かい良質な医療の提供に努めます。

～目次～

- 内科部長より P.1
- 呼吸リハビリ連携の会記事 P.2
- ウォーキング記事、スタッフ紹介 P.3
- 新任医師紹介、市民公開講座等 P.4

第1回 呼吸リハビリ連携の会

平成26年4月15日(火) 仙台サンプラザ ホテル

第一回 呼吸リハビリ連携の会

日 時 2014年4月15日(火) 19:00-20:30

会 場 仙台サンプラザ ホテル 2階「あおば」
仙台市宮城野区榴岡5-11-1 TEL:022-257-3333

【情報提供】 18:45-19:00
長時間作用型吸入気管支拡張剤『スピリーバ』 日本ベーリンガーインゲルハイム株式会社

総合座長 NTT東日本 東北病院 呼吸器内科 部長 高橋誠至 先生

【一般演題】 19:00-19:40

座長 NTT東日本 東北病院 呼吸器内科 内科主任医長 安達 哲也先生

演者 NTT東日本 東北病院 看護師 呼吸療法認定士 三塚 由佳先生
「患者のモチベーションをあげる看護の介入」

演者 NTT東日本 東北病院 リハビリテーション科 藤原 裕太先生
「当院呼吸リハビリテーション連携の現状と実際」

【特別講演】 19:40-20:30

座長 NTT東日本 東北病院 呼吸器内科 部長 高橋誠至 先生

演者 東北大環境・安全推進センター 教授
東北大医学系研究科産業医学分野 教授 黒澤一 先生
「よりよい楽しい生活を送るために
身体活動性の維持と向上」

*プログラム終了後、意見交換会の場を設けております

主 催 日本ベーリンガーインゲルハイム株式会社

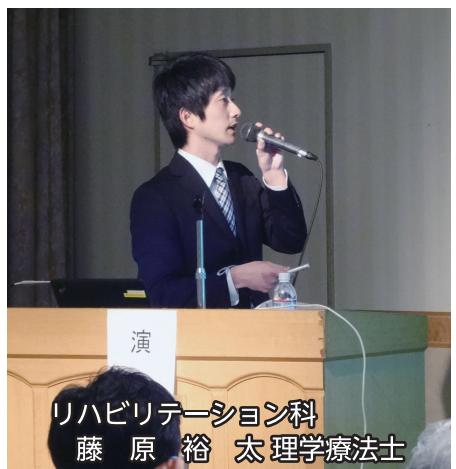


多くの皆様にご参加いただきました、
誠にありがとうございました。



今回は地域にいる呼吸器疾患の患者さんがリハビリテーションを継続していくために「呼吸リハビリ連携の会」を開催いたしました。

そして、かかりつけの先生方と、病院と自宅との連携の助けとなるツールとして「連携ファイル」と「連携日誌」を作成いたしました。今後、皆様のご意見をいただきながら、よりよい連携ツールとなるよう努力していきますのでよろしくお願い致します。
(看護師 三塚 由佳)



楽しく！ウォーキング！

平成 26 年 7 月 4 日（金） NTT 東日本東北病院 糖尿病チーム



血糖値・血圧を測定中…



あいにくの雨模様で傘をさしながらの
ウォーキングとなりました。

7月4日（金）、当院の糖尿病チーム主催によるウォーキングイベントを開催致しました。

糖尿病または糖尿病予備軍の方を対象に血糖値・血圧・体重を測定し、実際に若林区役所までウォーキングを行いました。片道約20分の道のりです。戻ってきた後に再度測定をし、血糖値などの変化と歩数計による消費カロリーを参加者の方たちに知ってもらう機会としました。

糖尿病チームスタッフ紹介 CDEJ について

CDEJ (Certified Diabetes Educator of Japan : 日本糖尿病療養指導士) とは、糖尿病治療にもっと大切な自己管理（療養）を患者様に指導する医療スタッフのことです。当院では看護師 5 名、管理栄養士 2 名、薬剤師 2 名、臨床検査技師 1 名、計 10 名の療養指導士がおります。佐藤譲院長、大和一美医師の指導の下、糖尿病チームの一員として CDEJ は各々の職種の専門知識のみならず、糖尿病治療の専門知識も兼ね備えた上で、患者様の糖尿病セルフケアを支援しております。今や国民病ともいわれる糖尿病は、治療の成否は患者様自身が自己管理を実行できるか否かにかかっています。食事療法や運動療法、さらには薬物療法、自己血糖測定を正確に習得し、継続していくためには療養をサポートするチームの存在は重要であり、CDEJ は療養指導を行う専門職としてその役割はますます重要度を増しています。

今後も先生方の指導の下、糖尿病チーム一丸となって、患者様のセルフケア行動を支援していけるよう努めていきますのでよろしくお願ひ致します。

(薬剤科 佐藤昌子)

新任医師紹介



産婦人科

はせがわじゅんこ
長谷川純子医師

5月より赴任いたしました。
日々、腹腔鏡下手術の研鑽を積んでおります。
着任間もないこともありまだ慣れないことが多いですが、精一杯頑張ります
ので、よろしくお願ひ致します。

市民公開講座

第39回「リウマチはここまで治る」

名誉院長 佐々木 豪

リウマチでの関節破壊は発症早期2年以内が最も強く進むそうです。関節に痛みや腫れが出た場合はぜひ早くに受診を！当院では①関節の視診・触診②血液検査③関節エコー、MRIなどの画像検査で診断致します。

お薬の開発も劇的に進歩しています。壊れた関節は元には戻りませんが、病気の進行を止め、痛みも著しく減らせます。それから笑うことや歌うことで心身がリラックスし安定することもリウマチ治療に大きな効果がある、と佐々木先生。



H26.4.22 (火)
「感染対策講座」
NPO 日本感染管理支援協会 理事長
土井英史 先生をお招きしました。

〒984-8560 仙台市若林区大和町2-29-1
NTT東日本東北病院

地域医療連携室

TEL 022-236-5899
FAX 022-236-5920